

ウルグアイ経済報告（１２月分）

【概況】

- 12月の消費者物価指数（対前年同月比）は、6.55%となり、5ヶ月連続でゆるやかに上昇しているものの、10ヶ月連続で政府のインフレ目標（3～7%）の枠内に入っている。引き続き、アルコール飲料・タバコ及び教育以外の分野では、前年同月比で1桁台の増加に留まっている。
- 12月の対ドル為替レートは平均28.88ペソと、前月比1.20%のペソ高で、2ヶ月連続のペソ高傾向にあるものの、大きな変動はない。
- 12月の輸出額は、前年同月比で4.0%減と2017年5月以来の前年同月比減となった。一方、2017年1月～12月の累計は、前年同期比10.8%増と高い増加傾向を維持した。この増加幅は2011年以来最も大きなものとなった。
- 2017年の輸出額増に大きな影響を与えたのは大豆（前年比36%増）、木材（同43%増）、セルロース（同7%増）及び牛肉（同6%増）であった。一方、炭酸飲料原料（同12%減）及び小麦（同62%減）の輸出額は大きく減少した。
- 2017年の輸出品第1位は牛肉であり、主要輸出先は中国（輸出額の40%）、EU（同25%）、米国（同13%）となった。同第2位はセルロース。同第3位は大豆はその輸出額の80%以上が中国向けであった。同第4位は乳製品で、最大の輸出先であるブラジル向けは大きく減少（輸出額の61%（2016年）から39%（2017年）へ）したのに対し、アルジェリア向けが大きく増加（同7%から20%へ）した。同第5位は炭酸飲料原料。同第6位のコメはその輸出額の26%がペルー向け、19%がブラジル向けであったほか、メキシコ、イラク及びキューバ向けの輸出額が前年比で大きく増加した。
- 2017年の主要輸出先を見ると、輸出額が前年比38%増となった中国が輸出先第1位となった（2,549百万米ドル、輸出額全体の28%）。中国向けの主な輸出品は大豆、牛肉及びセルロースであった。同第2位はブラジルだったが（1,207百万米ドル、同13%）、乳製品、小麦及びコメの輸出が減ったため、輸出額自体は前年比9%減であった。同第3位はオランダ（534百万米ドル、同6%）で主な輸出品はセルロース、牛肉及び大豆であった。なお、オランダはEU諸国向けの輸出品の玄関口となっており、EU全体向けの輸出額は1,453百万ドル（同16%）であり、輸出先第2位となる。同第4位は米国、同第5位はアルゼンチンであった。また、アルジェリアは輸出先第11位ではあったものの、前年比で大幅に増加し、輸出額全体の増加に中国に次いで寄与した。

【トピック】

1 ウルグアイ産生鮮牛肉の日本向け輸出

22日、東京で第27回農水省牛豚等疾病小委員会が行われ、ウルグアイ産生鮮牛肉の輸入に関する調査団の報告が行われた。大統領府及び農牧水産省は、同調査団の報告が小委員会で承認され、日本への牛肉輸出再開が近づいた旨ホームページに掲載した。同委員会における報告では、ウルグアイの行政及び家畜衛生状態は十分に整備されており、優れたトレーサビリティ・システムの運用により、あらゆる牛肉輸出国の見本になっている旨が強調された。次のプロセスは家畜衛生部会において小委員会が承認した報告書を検討することである。

2 メルコスール関連

(1) 第 51 回メルコスール首脳会議出席

21 日、バスケス大統領は、ブラジルで開催された第 51 回メルコスール首脳会議に出席し、メルコスール・EU・FTA 締結は可能であるとしつつ、無意味な交渉に時間を費やすつもりも不満足な協定に署名するつもりもないとしつつ、「合意を困難にしているのはメルコスールの責任ではなく、今は EU が態度を明確にする番である」と述べた。

(2) メルコスール外相会合

20 日、ニン・ノボア外相は、メルコスール外相会合で、ウルグアイが 2018 年 1 月 1 日に引き上げを予定している輸入税 (Tasa Consular) は保護主義的な理由ではなく、財政確保の目的で一時的 (2020 年を期限に廃止予定) に行われ、影響は最小限であると説明した。同輸入税は、輸入品に対して一種の手数料の名目で課されており、現在の 2% からメルコスール原産品については 3% へ、域外産品は 5% へ引き上げられる。同外相は、メルコスール加盟国による同増税への理解が得られたと述べた。

(3) メルコスール・韓国 FTA 交渉開始の合意

10 日、メルコスールと韓国は、ブエノスアイレスで開催された第 11 回 WTO 閣僚会議の際、両者間の通商協定を目指し、貿易・投資の自由化に向けた交渉を開始することに合意した。各国の内部手続きが完了次第、メルコスール・韓国 FTA 交渉が開始される予定となっている。

3 ウルグアイ・チリ・FTA 批准の先送り

22 日、与党拡大戦線 (FA) の政策協議会 (Mesa Politica) は、ウルグアイの中長期的対外通商政策を検討する作業グループを発足させ、2016 年 10 月に署名済みのウルグアイ・チリ・FTA に関する協議及び決定を 2018 年 4 月 28 日に開催される FA 総会で行うことを決定した。これにより、政府が早期批准を目指してきた同 FTA の審議が実質的に先送りされた。

4 中国ラ米カリブ・ビジネスサミットの開催

11 月 30 日～12 月 2 日、プンタ・デル・エステ市で第 11 回中国ラ米カリブ・ビジネスサミットが開催された。中国からの参加者 600 名を含む 2,500 名の企業及び政府関係者が参加し、2015 年にメキシコで開催された同サミット参加者数 700 名を大きく上回った。主な出席者はバスケス大統領、Ma Peihua 中国人民政治協商会議 (CPPCC) 副主席、モレノ米州開発銀行 (IDB) 総裁、ニン・ノボア外相、Chen Zhou 中国国際貿易促進委員会 (CCPIT) 副委員長、アストリ経済財務相、コッセ工業エネルギー鉱業相、アゲレ農牧水産相、ケチチアン観光相等。同サミットの開催期間中、1,200 以上の商談が行われ、展示会場において 40 ヶ国から 140 社及び団体の製品・サービスが展示された。

5 第 11 回 WTO 閣僚会議への出席

10 日、バスケス大統領は、ブエノスアイレスで開催された第 11 回 WTO 閣僚会議に出席し、国際ガバナンス及び国際社会における貿易・協調のための多国間体制強化の観点から、WTO の強化の必要性を訴えた。一方、ニン・ノボア外相は、ウルグアイは食糧の生産・輸出国であり、5 千万人分の食糧を供給する能力があると述べ、農産品貿易の継続的な改善はウルグアイの主要な関心であり、農業分野における具体的な成果の達成及び明確なルールの構築を目指す旨述べた。また、同外相は、同 WTO 閣僚会議の枠組みで、シュナイダー＝アマン・スイス経済相、ジャヤシリ・マレーシア国際貿易産業省事務次官、マリク・パキスタン商務相、カルデラ・ポルトガル経済相、アルサレハ・アラブ首長国連邦経済次官と会談した。

主な経済指標

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費者物価指数 (%)	5.31	5.24	5.45	5.75	6.04	6.30	6.55
失業率 (%)	7.84	7.58	7.82	7.58	7.71	7.76	未確定
平均賃金指数 (%)	9.36	9.73	9.60	9.51	9.80	9.02	7.96
対ドル為替 (ペソ) (平均)	28.38	28.64	28.67	28.91	29.38	29.23	28.88
新車売上台数 (台)	5,128	4,055	4,601	4,584	4,468	4,826	6,840

出所：国家統計院 (INE)、ウルグアイ自動車販売協会 (ACAU)

消費者物価指数

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
全体	5.31	5.24	5.45	5.75	6.04	6.30	6.55
食品・ノンアルコール飲料	0.09	0.12	0.68	2.10	2.62	3.91	5.06
アルコール飲料・タバコ	12.08	11.98	11.56	11.66	11.38	11.35	11.42
衣服・靴	5.02	4.68	4.37	3.85	2.85	2.61	2.65
住宅	8.43	8.25	8.19	8.21	8.39	8.35	8.49
家具・家庭用品	5.65	5.80	5.99	6.12	6.17	5.98	6.00
保健	8.61	8.42	8.90	8.85	8.80	8.67	8.51
運輸	4.55	4.79	5.46	5.75	6.97	6.28	5.65
通信	5.02	5.04	4.99	5.12	5.30	5.44	5.40
娯楽・文化	4.13	4.70	5.28	5.06	5.72	5.53	5.58
教育	11.02	11.22	10.90	10.88	10.92	10.90	10.79
レストラン・ホテル	8.80	8.54	8.42	7.59	7.29	7.44	7.52
その他の財・サービス	7.15	5.86	5.40	5.01	5.59	5.53	5.56

出所：国家統計院 (INE)

貿易統計

		6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
輸出	額 (百万ドル)	947	716	723	836	667	676	603
	前年同月比 (%)	27.6	1.1	5.5	32.1	19.9	13.1	-4.0
	1 月からの累計 (百万ドル)	3,987	4,616	5,299	6,082	6,642	7,270	7,820
	前年同期比 (%)	13.1	10.0	9.8	12.2	12.4	12.3	10.8
輸入	額 (百万ドル)	600	579	676	660	677	693	722
	前年同月比 (%)	8.2	9.6	-3.7	5.4	11.2	6.4	12.1
	1 月からの累計 (百万ドル)	3,511	4,090	4,766	5,424	6,101	6,794	7,515
	前年同期比 (%)	-3.1	-1.5	-1.8	-1.0	0.2	0.8	1.7

出所：Uruguay XXI (ウルグアイのフリーゾーンを含まず。毎月の輸出額、輸出累計額は暫定値)

製造業指数(%)

	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
全体	-10.87	-11.02	-12.09	-12.11	-12.97	-13.06	-11.80
全体（石油精製除く）	1.85	2.59	1.91	1.64	0.77	0.90	0.83
食品・飲料	5.36	5.51	4.07	3.15	2.13	1.42	0.87
繊維製品	-12.72	-11.37	-9.70	-6.81	-7.33	-6.28	-6.00
衣服	-15.88	-11.86	-10.74	-13.68	-10.02	-11.05	-10.02
皮等	-2.60	-2.19	-3.56	-3.61	-4.44	-3.93	-3.94
木材及び関連品	-1.29	-0.90	-1.45	-1.16	-0.06	0.69	1.26
紙等	-0.91	0.21	-0.43	0.51	-1.22	0.08	0.19
製本	-12.12	-12.60	-12.10	-12.16	-12.44	-12.88	-13.08
石油派製品等	-72.95	-77.50	-80.75	-82.56	-84.41	-85.45	-78.70
化学品	6.27	7.37	6.13	5.58	4.50	4.85	5.43
皮・プラスチック製品	-8.65	-4.82	-1.81	-1.64	-0.40	0.24	1.07
非金属鉱物	-5.64	-6.18	-5.92	-5.81	-4.55	-3.21	0.32
礎金属	-3.97	0.04	0.81	0.48	-3.39	-4.11	-3.51
金属・機会・機器	6.23	3.55	3.51	-0.03	-0.82	0.05	-1.09
電子機器以外の機械	17.80	17.96	16.85	14.48	15.21	15.22	13.72
電子機器・機械	-15.04	-16.70	-14.44	-12.60	-11.57	-10.85	-12.76
医療機器等	-11.93	-10.89	-9.30	-8.15	-5.54	-4.42	-4.20
自動車等	90.17	141.81	139.87	158.49	169.67	183.65	174.25
その他輸送機器	36.49	46.43	31.39	33.89	26.92	21.61	25.37
家具等	6.88	4.79	3.23	3.34	1.17	1.77	0.37

出所：国家統計院（INE）

（了）